

点呼セミナー2021 “さようなら対面点呼・こんにちはリモート運行管理”
4月開催 参加者アンケート結果のお知らせ

IT点呼システム及びアルコール検知器を開発販売する東海電子株式会社(本社：静岡県富士市代表取締役 杉本 哲也)は、この度、4月19日と4月23日に開催したセミナー『さようなら対面点呼・こんにちはリモート運行管理』参加者のアンケート結果をお知らせ致します。

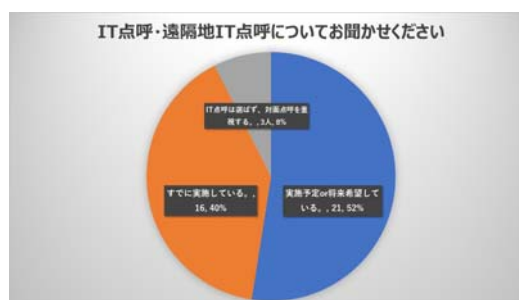
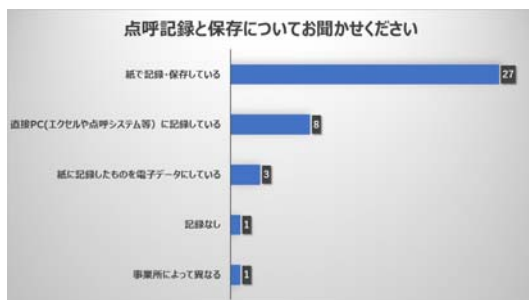
1) **国土交通省事業用自動車総合安全プラン 2025**

国土交通省はデジタルガバメント中期方針と、安全プラン 2025 において、「対面点呼原則の撤廃」「ICTを活用した点呼や運行管理の高度化と一元化」の方向性を明確にしました。また、ロボット点呼といわれる自動化技術の促進や認定制度の構想も掲げ、直近で終業点呼の無人化をまずは目指すという実証実験が開始されました。

この度当社では、このような点呼や運行管理の中期的な法改正の動きをお客様へ伝えつつ、あらためて運行管理者業務の柱であるある点呼について法令解説を行う趣旨で本セミナーを開催したところ、合計 80 名の方にご参加いただきました。



2) **参加者の声**



セミナー修了後、IT点呼やロボット点呼等、運行管理の実態等、実情をお聞きするアンケートを行いましたので、国土交通省様、トラック協会様をはじめ、運輸安全業界のすべての関係者のみなさまにお知らせ致します。

IT点呼採用意欲が強い背景には、点呼記録のアナログ(紙)管理実態への疑念が感じられます。運行管理者の不足有無、ロボット点呼等、他の回答につきましては別紙もしくは下記 URL をご覧ください。

https://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/1128_20210427211116_download_file.pdf

本件に関する問い合わせ先 東海電子株式会社 営業部

東京都立川市曙町 2-34-13 オリピック第3ビル 203

E-mail: info@tokai-denshi.co.jp TEL:0120-609-100

東海電子コーポレートサイト : <http://www.tokai-denshi.co.jp>

東海電子公式 EC サイト : <https://shop.tokai-denshi.co.jp/>



点呼セミナー2021 「さようなら対面点呼、 こんにちはリモート運行管理」

参加者アンケート回答の結果から見える
運輸業界の実情

開催日4月19日・23日

TD 東海電子株式会社 無料 WEB セミナー

さようなら対面点呼、 こんにちはリモート運行管理

国土省の安全プラン 2025 と、昨今の監査結果から
運行管理デジタル化政策と点呼規則改正ロードマップを読む

| | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|
| 5/14 (金) 13:30~15:00 | 5/24 (月) 13:30~15:00 | 【開催方法】:ZOOMによるオンライン形式(30分前より参加頂けるよう調整致します) 【申込み方法】:下記URLよりウェビナー登録をお願い致します。 5/14日開催 https://zoom.us/join/wn_7wsDOH2l5gaaMh45NB24Cg 5/24日開催 https://zoom.us/join/wn_ACdYCX-ZTH-CpZMeEHT0g |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---|

3月30日 国土交通省が策定した『事業用自動車総合安全プラン2025』が正式に公表されました。この「プラン2025」には、国土交通省の2021年4月以降の安全政策の方向性や予算の規模が多く盛り込まれています。前項としてとしてコロナ禍にある中、このプラン2025からは、アフターコロナを想定した点呼や、ICTを前提とした運行管理の「新常識」が垣間見えます。運輸業で安全管理に携わるみなさんと一緒に、しばしば最先に思いを馳せながら、まずは、詳細、運輸安全ジャーナルとして、2021年から2022年にかけて起こるであろう「規制緩和」「規制強化」を予測してみたいと思います。

<点呼の未来と、運行管理者の未来>

1部 (55分)

- デジタルガバメント国土省版からわかること
- 「対面点呼が重要」は、神話か？事実か？
- 監査と行政処分から見ると、運行管理の課題？
- IT点呼と、ロボット点呼、の違いは？
- ヒト運行管理者 VS AI運行管理者
- 点呼データ運行データ電子化の落とし穴
- 5年後の運行管理者の役割って？

講師
運輸安全センター
自動車安全推進部
運行管理課 課長
杉本 哲也

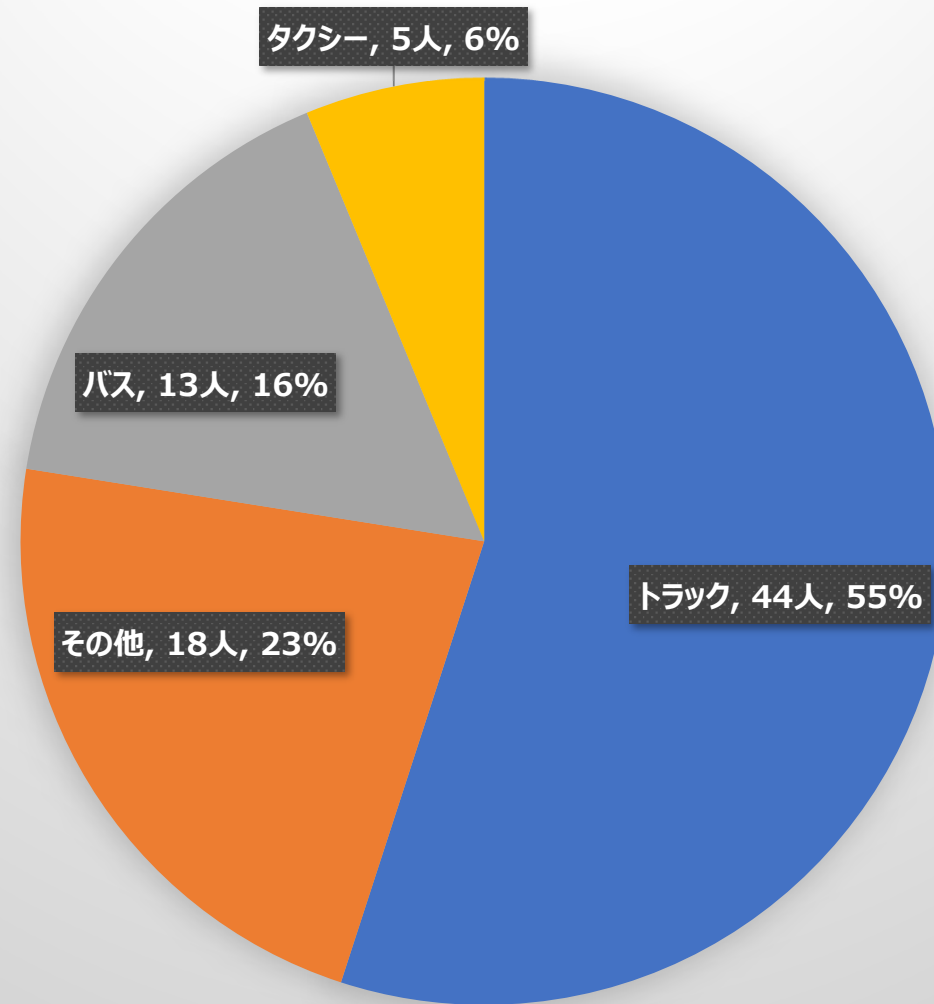
<IT点呼を理解する～法令編と運用編>

2部 (55分)

- IT点呼、法令編
- IT点呼、手続き編
- クイズで知ろう！
IT点呼・IT点呼申請書を記入してみよう！
- 運行管理規定を改定してみよう！
- IT点呼予定を作成してみよう！
- 電子点呼記録簿をつくってみよう！

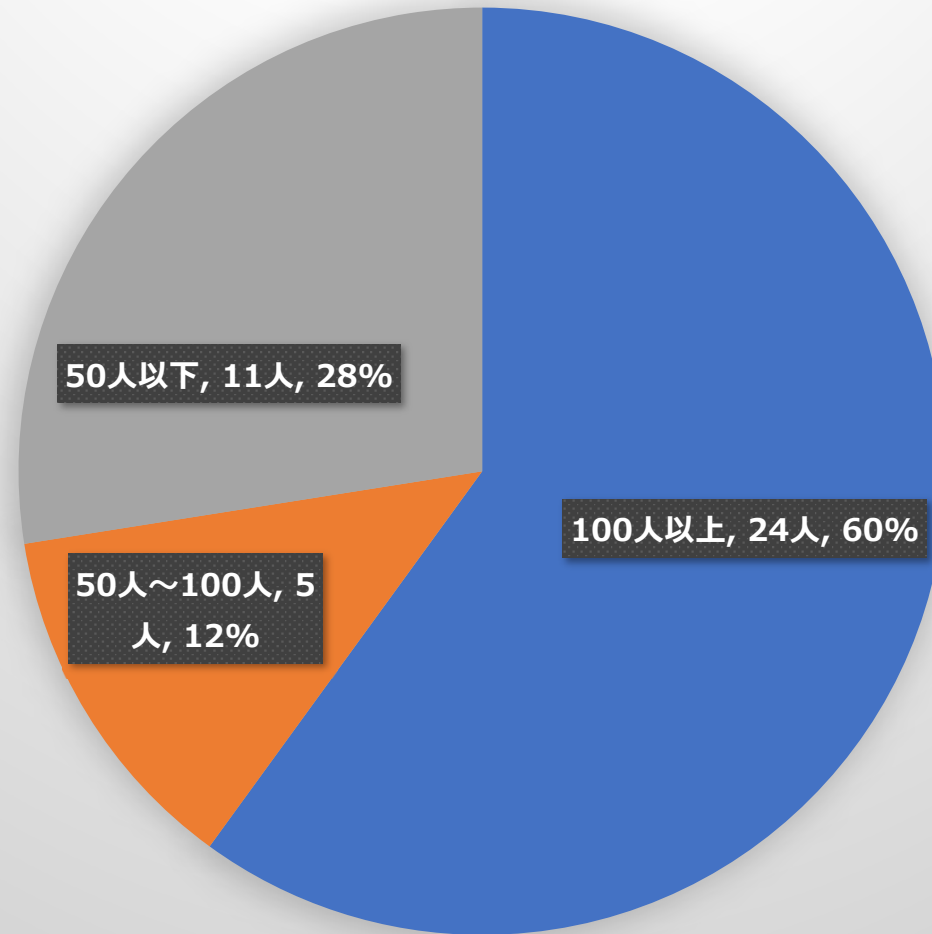
講師
運輸安全センター
自動車安全推進部
運行管理課 課長
松本 剛洋

全2回 80名の参加者（業種）

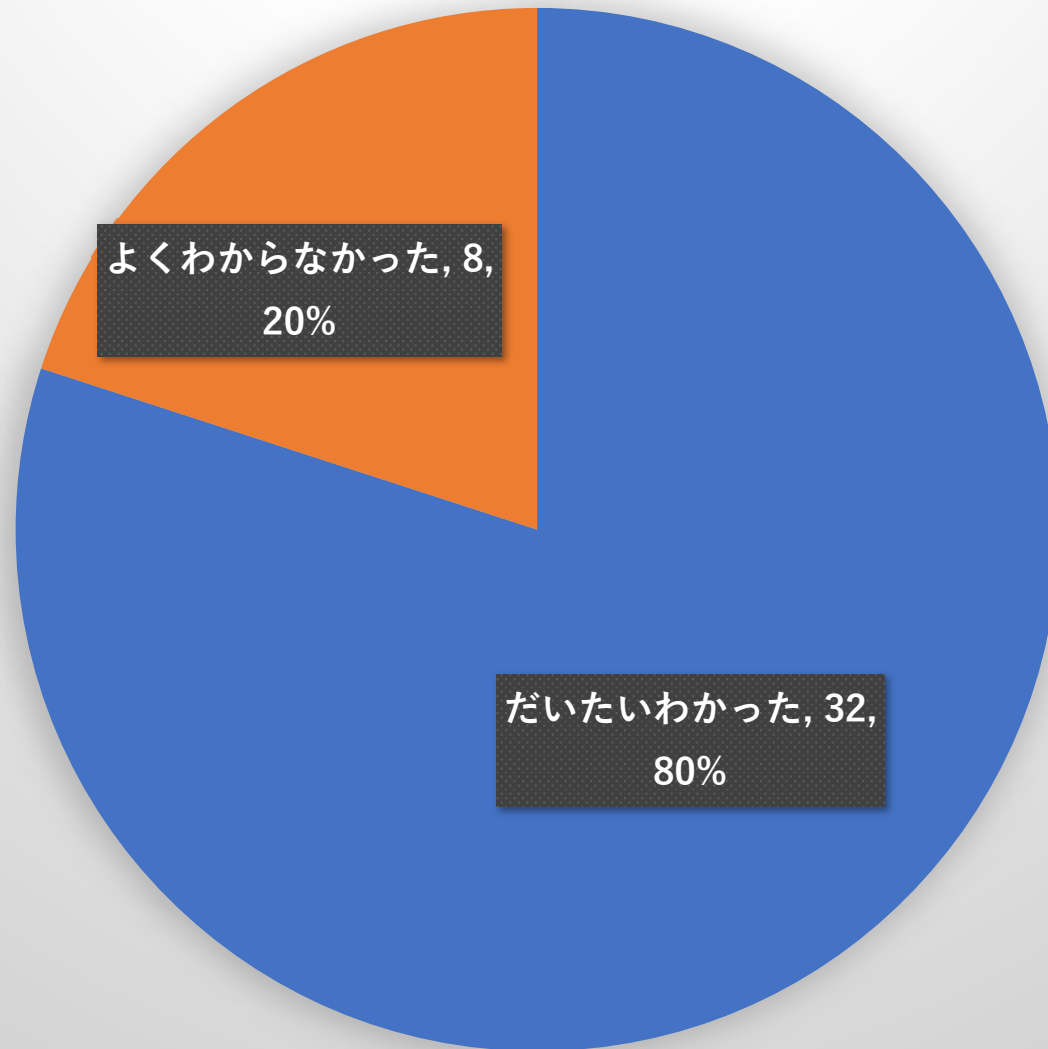


80名にご参加いただきました。
回答された方は40名でした。

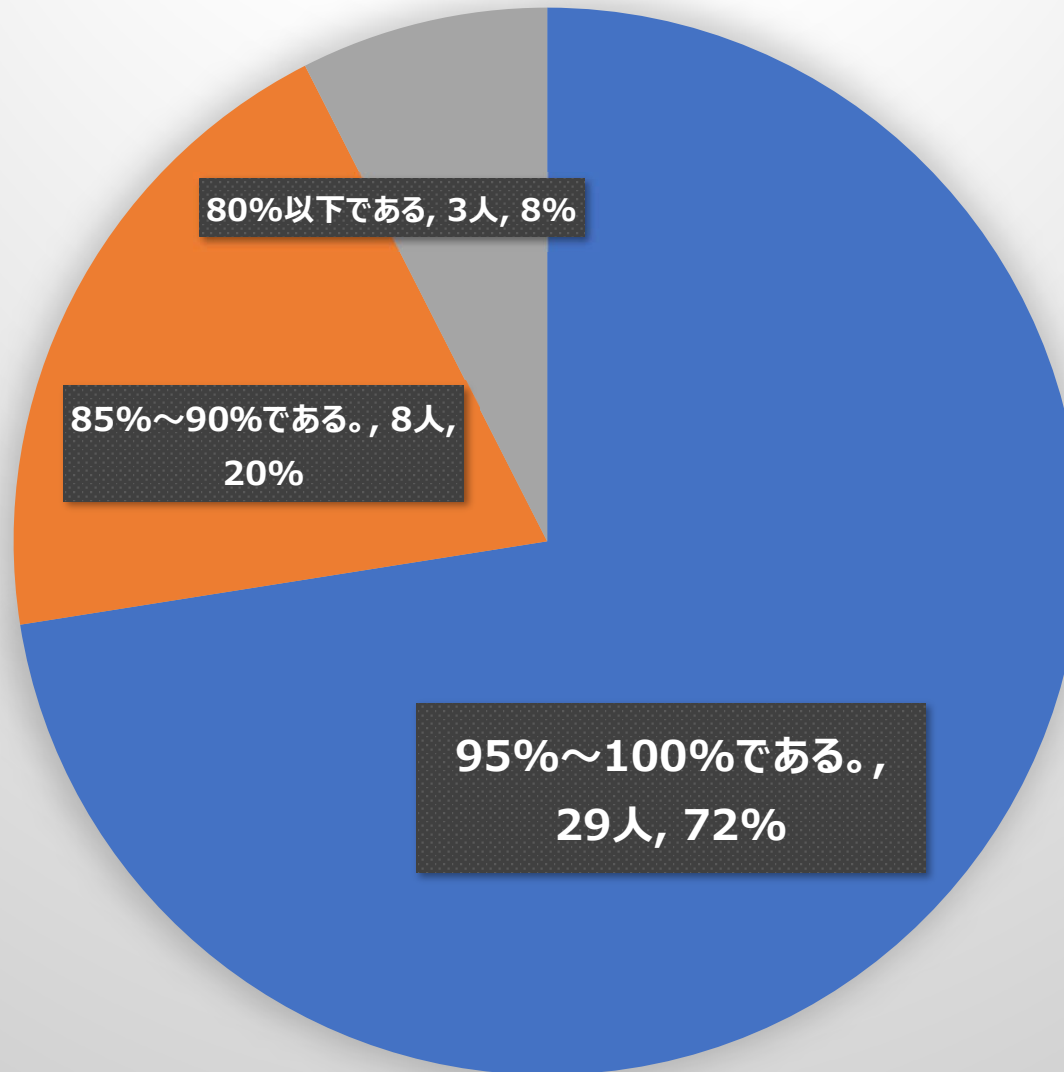
セミナー参加者（企業規模別）



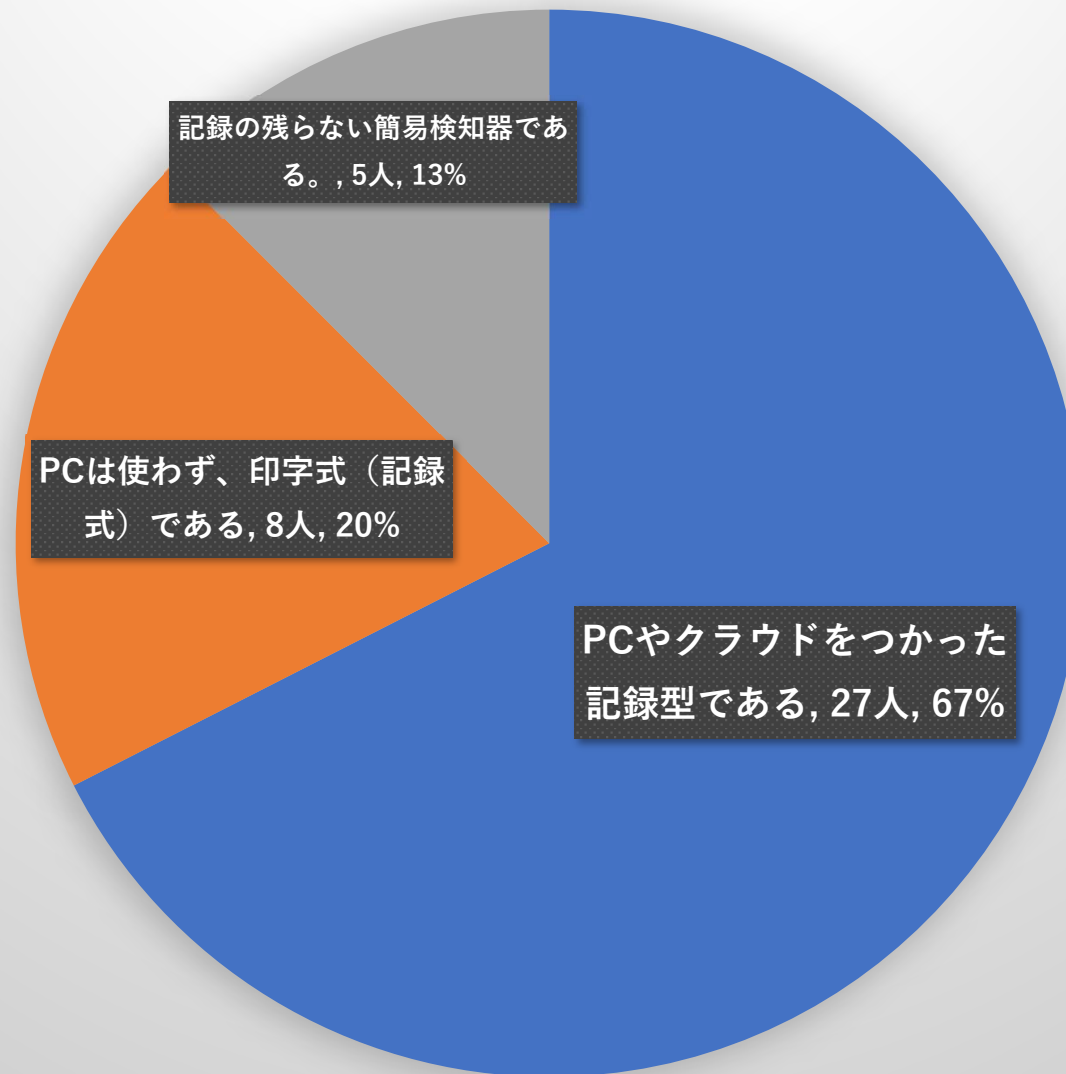
プラン2025、ご理解いただけましたか？



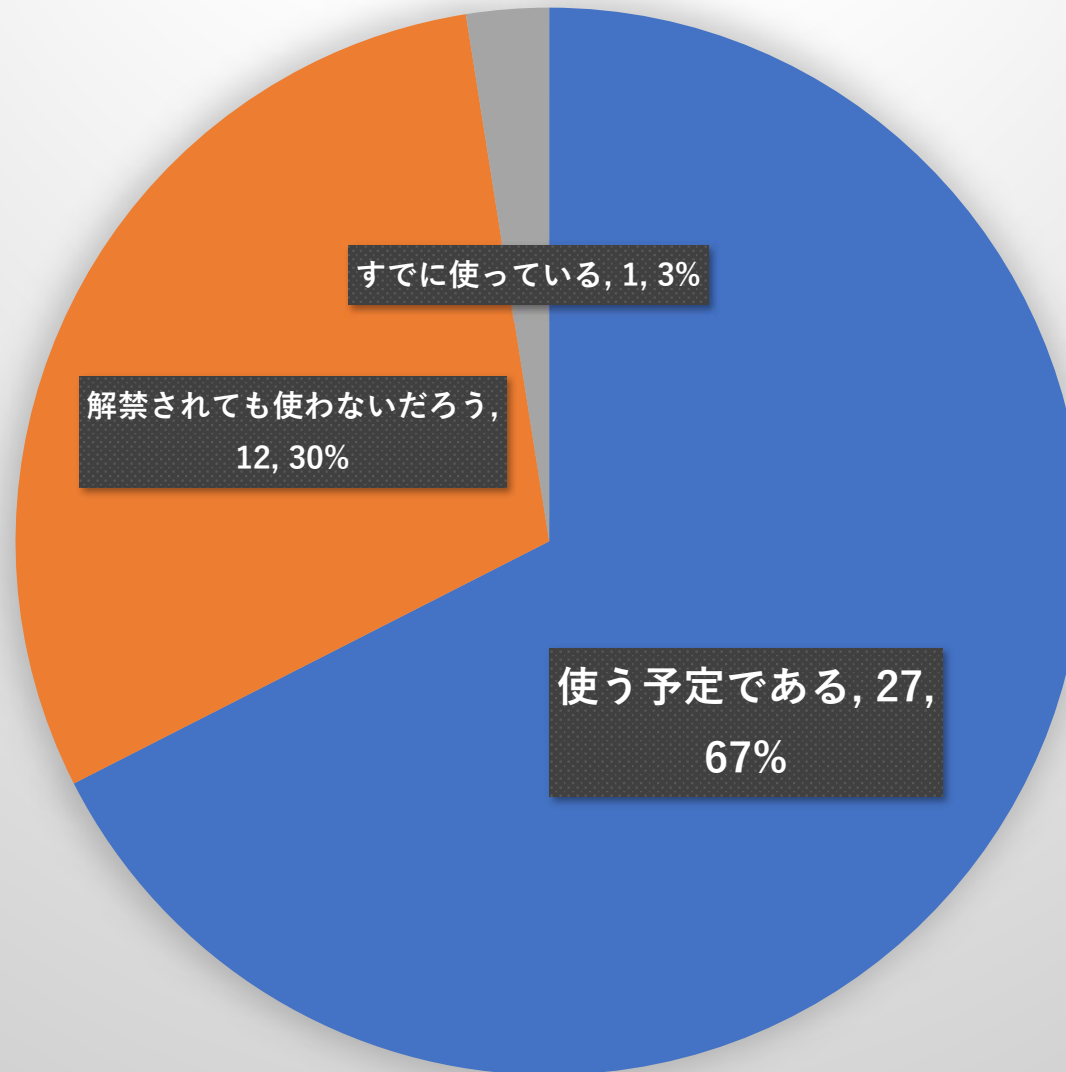
御社の点呼実施率をお聞かせください



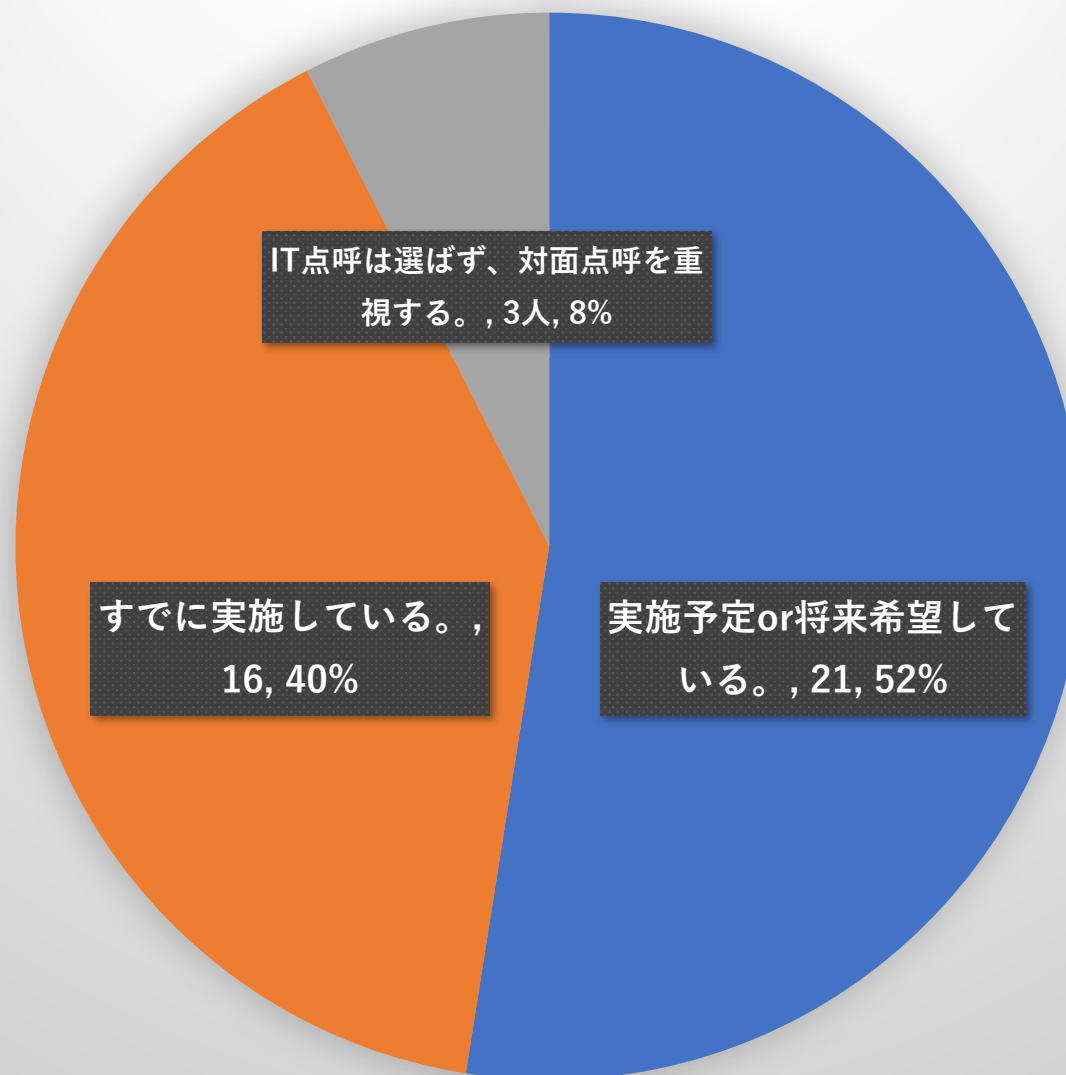
アルコール検知器はどんなタイプをお使いですか



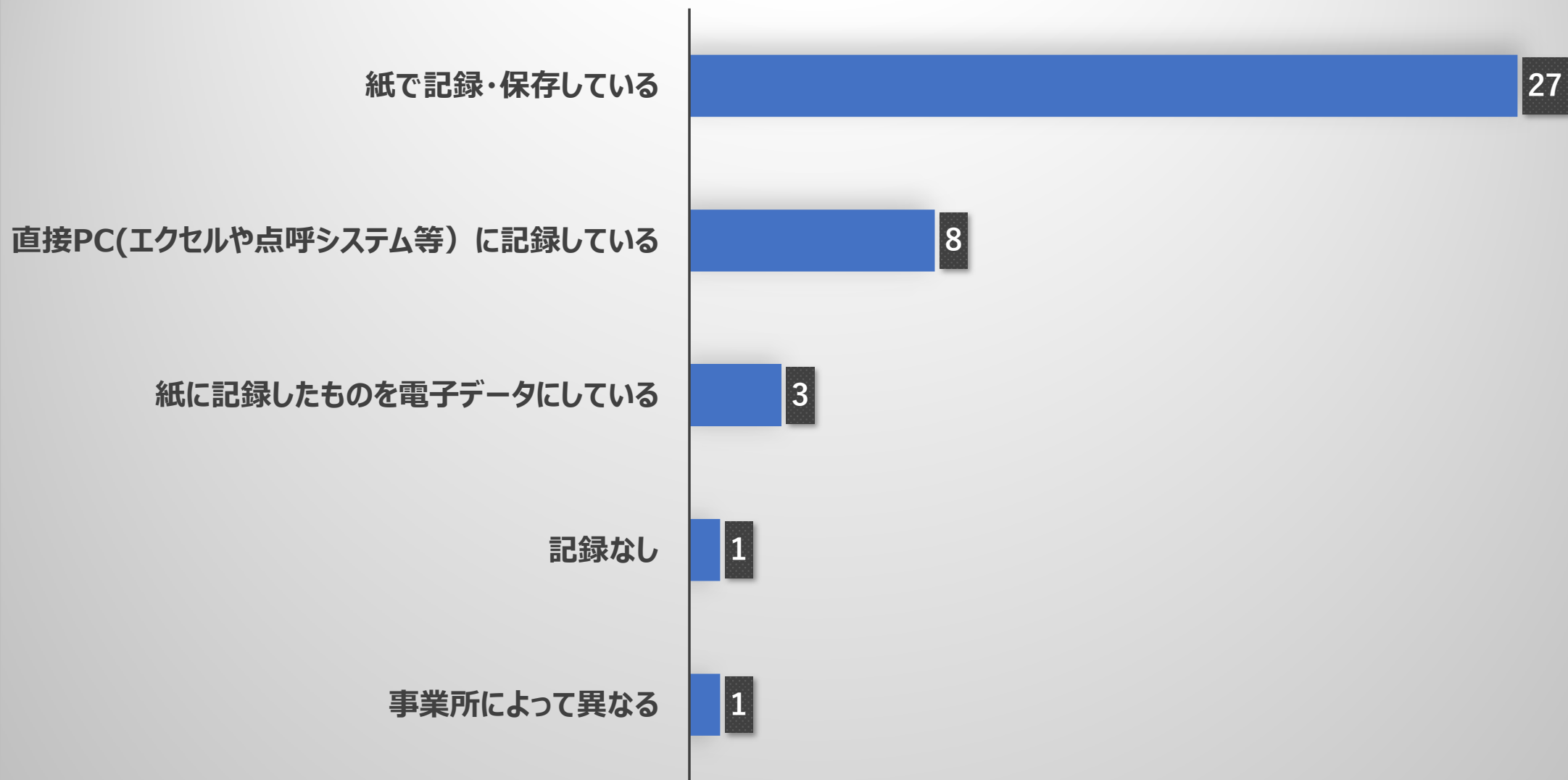
ロボット点呼について



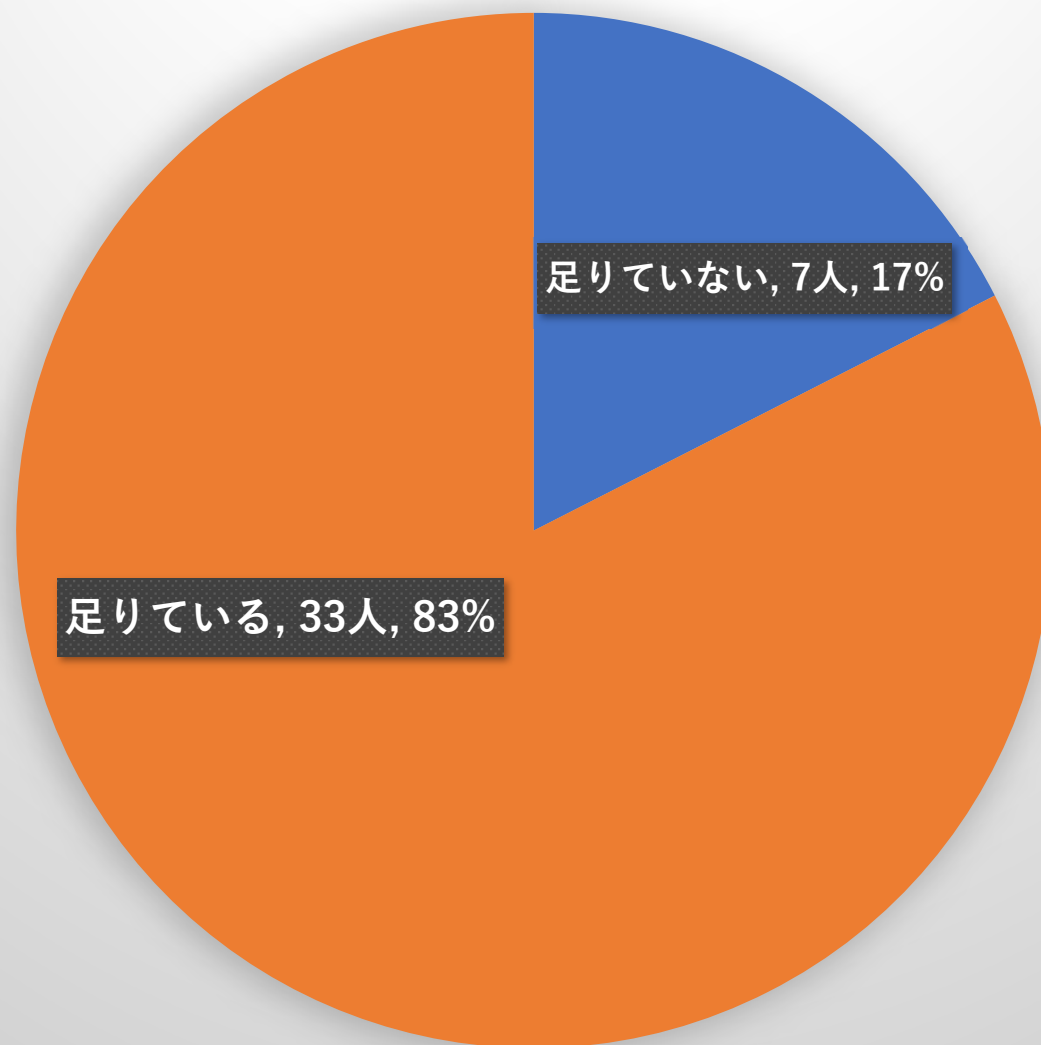
IT点呼・遠隔地IT点呼についてお聞かせください



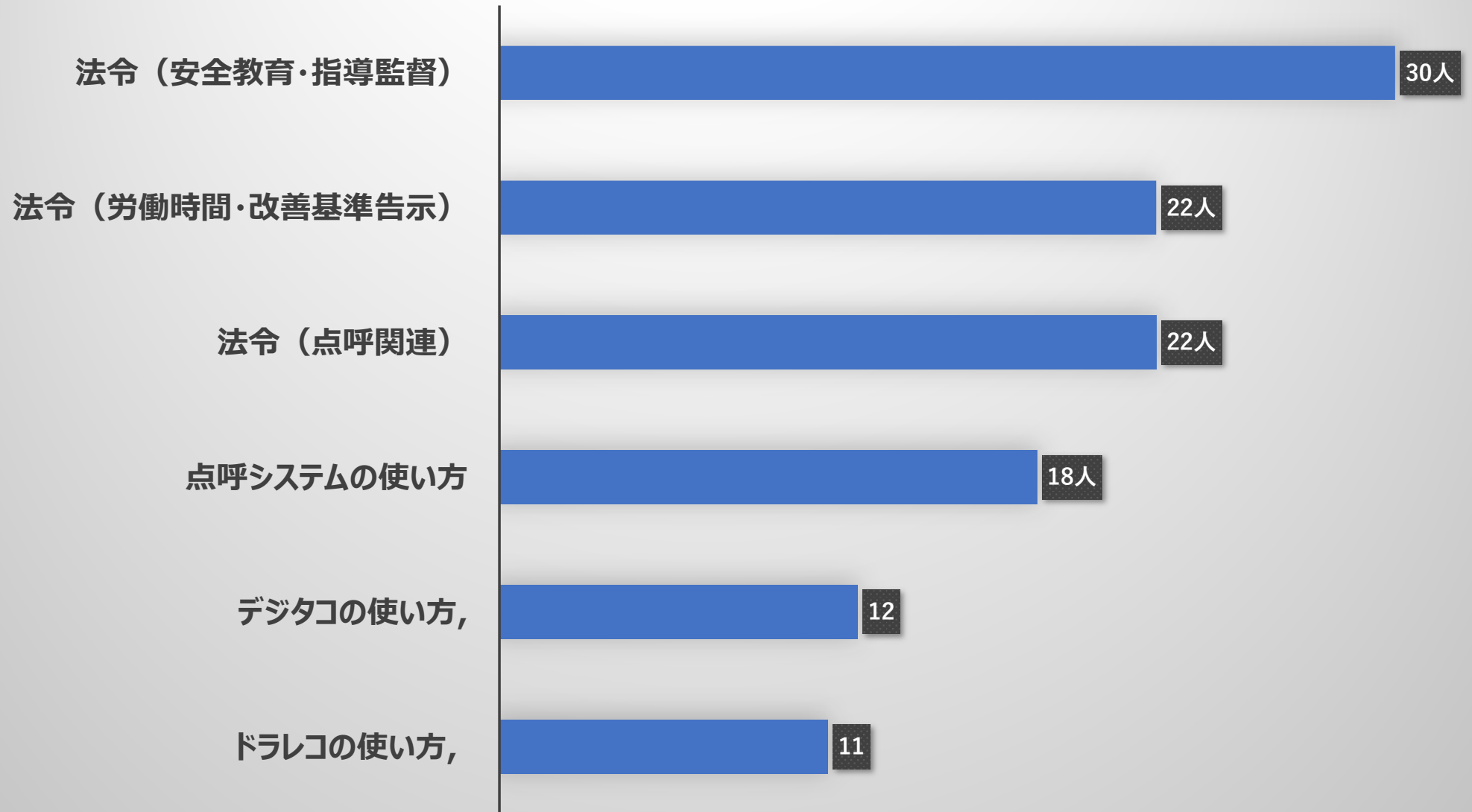
点呼記録と保存についてお聞かせください



運行管理者は、足りていますか？



今後セミナー企画で実施してほしい内容は？



ご意見・ご感想 有難うございました！

法令理解へのクイズが良かった。一部誤解していたこともあった。

運行管理・点呼の知識が深まりました。

点呼の動画を頂けますと幸いです

2部については運行管理者業務を再認識できた

内容を精査して、時間厳守で。開始時間を早めて、12時には終了を。

大変よく調べられていて参考になりました。ぜひ東海電子さんの技術を紹介していきたいと思っております。第2部でのIT点呼等動画のアップされていれば教えてください。またセミナー等での紹介をするために動画をお借りすることは可能でしょうか。ご検討くださいますと助かります。よろしく願いいたします。安全プラン2025については忙しくてこれから勉強しようと思っていたところでした。勉強になりました。ありがとうございました。

1部の時間がもう少し欲しかった。

1部は前回に参加した時の内容がほぼ同じだった

セミナーの資料が欲しい

2部のセミナーは特にわかりやすかった。

点呼委託についてもっと詳しく知りたいです。

IT点呼の条件付き認可についてももう少し詳細な資料があればよかったと思う。
